

みえ環境フェア2018

三重県地球温暖化防止活動推進センター(☎059-245-7517)

「COOL CHOICE(賢い選択) 未来のために、いま選ぼう。」をテーマに、みえ環境フェア2018を開催!

県内高校による景観物や弁当等の販売や、県内企業による規格外品等を安値で販売するものもない市、エコ工作・体験など、エコにちなんだイベントが行われます。

と き 12月16日(日)
 午前10時～午後3時

ところ メッセウイング・みえ
 (津市北河路町19-1)

入場料 無料

その他 亀山市環境活動ポイント制度(AKP)事業のポイント付与対象イベントです。

お知らせ

なくそう! 枯れ草火災

消防署警防課指揮支援グループ
 (☎82-9494)

これからの季節は空気が乾燥し、

ササとした草も枯れ草になり燃えやすくなります。

たばこの投げ捨て、放火や子どもの火遊びなどの小さな火から簡単に燃え広がることも多く、火災の危険度が高まります。

枯れ草火災をなくすためにも、建物付近の空地や農地(休耕地などを含む)の所有者または管理者は、枯れ草を早めに取り取り、取り取った草は整理・除去するようにお願いします。



となりまち

情報交流ひろば

政策課広報秘書グループ
 (☎84-5021)

いが・こうか・かめやま



伊賀市

芭蕉翁記念館

～芭蕉さんのふるさとで作品に出会う～



芭蕉さんのふるさと伊賀市には、芭蕉さんの手紙などの宝庫が、今でも大切に守り伝えられています。

上野公園内にある芭蕉翁記念館は、「日本の四季と芭蕉」を年間テーマとして展示を行っています。冬の展示では、「日本の四季と芭蕉 冬～古里や瀧のほとり」として、芭蕉の冬を中心に芭蕉さんの冬の句などを紹介します。

と き 1月5日(土)～3月13日(水)

ところ 芭蕉翁記念館

(伊賀市上野丸之内117-13 [上野公園内])

アクセス 名阪国道「上野丸之内」から車で約7分

問合せ先 伊賀市企画振興部文化交流課
 (☎0595-22-9621)

伊賀市広報情報課(☎0595-22-9636)

甲賀市

限定1,300枚 信楽焼「干支切符」

～いのしし年親子キップ～



信楽高原鐵道(SKR)では、毎年恒例の信楽焼列車でできた干支切符を1,300枚限定で販売しています。

今回は、亥年の干支「亥」にちなんで、イノシシの親子が仲良く寄り添っているデザインになっています。

信楽駅では、ほかにも個性あふれる企画切符や、鉄道グッズも販売していますので、SKRホームページでご確認ください。

価 格 1枚1,380円(信楽駅～貴生川駅間の大人と子ども各1人分の往復乗車券)

購入方法 信楽駅の窓口または電話、ファクス、SKRホームページでお申し込みください。

※制作の都合上、発送が遅れることがあります。

申込・問合せ先 信楽高原鐵道(株)
 (甲賀市信楽町長野192 ☎0748-82-3391、FAX0748-82-3323、<http://koka-skr.co.jp/>)

甲賀市秘書広報課(☎0748-69-2101)

環境フェアに「デロリアン」

津 トークや「エコ弁当」も

環境に配慮した企業の活動やNPO、自治体の取り組みなどを紹介する「みえ環境フェア2018」が16日、津市北河路町のメッセウイング・みえで開かれ



デロリアンの運転席で記念撮影＝津市北河路町

た。「みえエネルギーにし

て走る」として映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に登場する車型タイムマシン「デロリアン」の前には、家族連れらの列ができた。ステージでは「地球温暖化防止活動を次世代に繋ぐ」と題した環境トークがあった。県地球温暖化防止活動推進センター長の朴恵淑・三重大教授が司会を務め、資源循環型生産システムをめざすごま製品製造販売会社の九鬼紋七会長が、自社のこだわりや人材育成などについて話したほか、県内の中高生も目ごろの環境活動を紹介した。

県立相可高校の調理クラブは竹皮の容器に入った「エコ弁当」を販売。県内の菓子メーカーなどは規格外品や消費期限の近い食品を特価販売して、食品ロスを減らす必要を訴えた。

(中川史)

朝日新聞(平成30年12月17日)

【放送媒体による告知放送等】

① FM三重による告知放送

- ・ FM三重による告知放送は、12月5日（水）、12月12日（水）の2回、最も聴取率の高い17時50分ごろに約5分間、三重県センター長である朴三重大学教授へのインタビュー形式で行った、
- ・ フェア開催前の12月12日の14時半過ぎから約5分間、三重県センター長である朴三重大学教授へのインタビューがFM三重パーソナリティにより生放送された。

② ケーブルテレビによる告知放送

津地域のケーブルテレビにより環境フェアの取材、放送が行われた。

【開催地周辺小学校等への開催チラシ等の配布】（資料1、資料2）

環境フェアの開催チラシを、会場周辺の津市及び鈴鹿市全域の小学校全児童（約28,000人）に配布すると共に、チラシ、ポスターを津市及び鈴鹿市の市役所、出張所、公民館図書館等に配布した。

④ 開催結果の報道

環境フェア2018の開催日は、三重テレビの取材があり同日ニュースで報道された。

(3) フェア開催により排出されるCO₂のオフセット

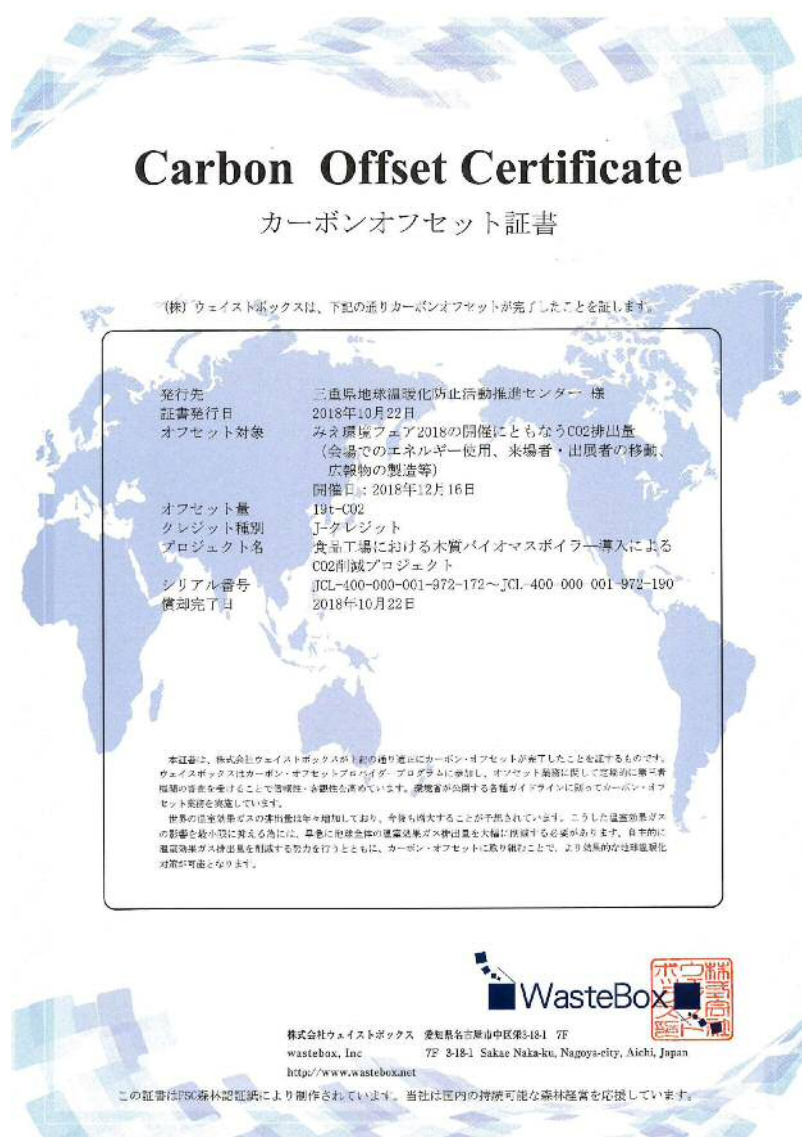
みえ環境フェアでは、環境フェア開催により排出されるCO₂のオフセットを行っている。

本年度は、中部経済産業局により制定された「中部産CO₂クレジット」を用いて19t-CO₂のカーボンオフセットを行った。また、マスコミ等への周知や会場での掲示で周知を図った。

カーボンオフセットの内容は表-3のとおりである。

表-3 カーボンオフセットの内容

内容	CO ₂ 算出量
会場の電力の使用	1,690kg-CO ₂
出展者の車両使用	4,810 kg-CO ₂
来場者の車両・シャトルバス	12,090 kg-CO ₂
ポスター・チラシの印刷	100kg-CO ₂
その他	20kg-CO ₂
計	18,7100 kg-CO ₂ ≒19 t-CO ₂



(4) 開催結果

「みえ環境フェア2018」は、好天にも恵まれ約5000人の来場者で盛況のうちに開催することができた。



写真 センター長による開会挨拶



写真 ポスターコンクール表彰式



写真 ブースの状況①



写真 ブースの状況②



写真 ブースの状況③



写真 移動式プラネタリウム



写真 ブースの状況④



写真 九鬼産業株式会社代表取締役会長と朴センター長による環境トーク



写真 もったいない市



写真 四日市農芸高校の皆さん



写真 相可高校調理クラブの皆さん



写真 電気自動車・燃料電池自動車などの展示

(5) COOL CHOICE の賛同

環境フェア会場で COOL CHOICE の賛同を募った。

賛同数 390 人

(6) アンケートの実施

① 家庭の省エネアンケート

環境フェア会場において、全国統一アンケートである「家庭の省エネアンケート」(資料 1) を行い、環境フェア参加による行動変容調査を行った。

実施日：平成 30 年 12 月 16 日 (日)

アンケート回収枚数：245 枚

CO2 削減量

$$138 \text{ (kg-CO}_2\text{/年/人)} \times 245 \text{ (回答人数)} \times 2/12 \text{ (12 月に開催するので効果は 2 か月分)} \\ = 5.6 \text{ t-CO}_2$$

② 子供を対象としたアンケートの実施

環境フェア会場において、幼児から小学生までの子供を対象としたスタンプラリーを実施し、あわせて地球温暖化対策について 10 項目のアンケート(資料 2)を行った。

実施日：平成 30 年 12 月 16 日 (日)

アンケート回収枚数：168 枚

CO2 削減量

$$138 \text{ (kg-CO}_2\text{/年/人)} \times 168 \text{ (回答人数)} \times 2/12 \text{ (12 月に開催するので効果は 2 か月分)} \\ = 3.9 \text{ t-CO}_2$$

③ エコライフアンケートの実施

環境フェア会場において、エコライフに関する 20 項目のアンケート(資料 3)を行った。

簡易省エネアンケート結果によると、平均光熱費は 29,048 円/月であり、その割合は電気代 (28%)、ガス代 (34%)、灯油代 (8%)、ガソリン代 (30%) となっていた。

省エネの取組みでは、「買い物袋の持参」、「ゴミの分別ルールの遵守」が 90 点を上回っていたが、「ラップを使用せず蓋付き容器の使用」、「風呂の残り水の利用」、「家族で省エネや環境問題などの話をする」、「近所への自動車移動を控える」、「エコマーク商品の購入」が 60 点未満と、このあたりが今後の啓発ポイントと考えられる。

実施日：平成 30 年 12 月 16 日 (日)

アンケート回収枚数：94 枚

④ 来場回数アンケート

環境フェア会場で来場回数アンケートを実施したところ、初めての来場者が 40%、2 回目の来場者が 31%、3 回以上の来場者が 29%という結果となった。

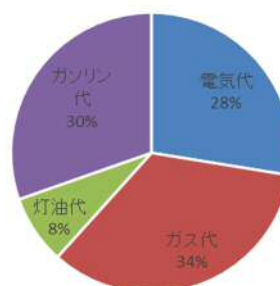
実施日：平成 30 年 12 月 16 日 (日)

アンケート回収枚数：262 枚

みえ環境フェア エコライフアンケート集計結果（平成 30 年 12 月 16 日）

■平均光熱費							
	平均光熱費 (円/月)	世帯人数別光熱費(円/月)					
		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯
電気代	9,653	6000	6000	7541.7	8803	10000	12900
都市ガス代	5,554	1000	625	1687.5	2030.3	1125	2200
LPガス代	6,389	1000	3350	1875	2212.1	2125	5800
灯油代	2,785	0	1187.5	362.5	681.82	718.75	2300
ガソリン代	10,638	3333.3	7000	8500	10061	7875	9800
合計	29,048	10,333	16,175	18,185	21,667	20,219	29,000
■取り組みチェック							
			回答人数(人)				平均点 100点 満点換 算
			できて いる	半分く らい	できて いない	持って いない・ 関係な い	
(1)冷蔵庫のドアの開閉は回数を減らす			38	45	10	1	65
(2)台所で節水を心がける			49	34	11	1	71
(3)生ゴミは水分を十分切って出すか、コンポストしている			48	28	18	1	66
(4)電子レンジや冷蔵庫保存はラップを使わず、ふた付き容器を使用する			30	33	30	2	51
(5)使い切る分だけお湯を沸かす			56	23	15	1	72
(6)使っていない部屋の照明はこまめに消す			61	26	6	1	80
(7)テレビは点けっぱなしにせず、見たい番組のときだけ点ける			46	24	20	4	66
(8)冷暖房の設定を控えめにする(冷房は28℃、暖房は20℃が目安)			47	33	15	0	67
(9)物は大切に、長く使うように心がける			59	32	3	1	80
(10)家族で「省エネ」「リサイクル」「環境問題」などの話をする			19	44	30	1	45
(11)シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける			45	38	12	0	67
(12)お風呂はさめないうちに、家族が続けて入る			48	31	13	2	70
(13)お風呂の残り湯を、洗濯や庭の水やりに利用する			35	11	42	7	50
(14)掃除機をかける前に、まず部屋を片づける			50	26	18	0	67
(15)洗濯は量をまとめて行い、洗濯回数を減らすようにする			64	20	9	2	80
(16)洗剤を適量確認して使用する			66	21	6	2	83
(17)買い物のときは買い物袋を持参する			79	15	1	0	91
(18)エコマーク商品など環境にいい商品を意識的に選んで購入する			25	35	31	3	48
(19)リサイクルや、各自治体の分別収集のルールを守る			79	13	2	1	91
(20)近い所へは徒歩や自転車を使い、自動車の使用はひかえる			33	32	29	1	53
1 台所							65
2 部屋・生活							67
3 風呂・洗面							62
4 掃除洗濯							77
5 買い物・外出							71
■記入世帯数							
	合計	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	6人世帯
世帯数	94	3	8	24	33	16	10
■オール電化世帯							
	オール電化世帯	27					
	ガス併用世帯	67					
■都市部郊外別							
	都市部	52					
	郊外	41					

平均光熱費の割合



3 推進員研修会の開催

本事業において、推進員の研修会を1回実施した。概要は次のとおりである。

中部ブロック合同推進員研修会

開催日：平成30年10月17日（水）18日（木）

開催場所：第1日目：長野市生涯学習センター 大学習室1

（長野市大字鶴賀間御所町1271-3 TOiGO WEST 4階）

第2日目：長野県林業センター 502号・503号会議室

（長野市岡田町30-16）

出席者：三重県推進員3名、三重県センター事務局1名 計4名

概要：

① スケジュール及び内容

	時 間	項 目
17日 （水）	14：00	開会のあいさつ
	14：10	オリエンテーション
	14：20	アイスブレイク
	14：30	活動事例紹介 ディスカッション [1人15分（質疑応答含む）×8人=120分]
	17：00	1日目終了
	18：00	情報交換会
18日 （木）	9：10	集合：長野県林業センター502号・503号会議室
	9：15	現地視察場所へ移動
	9：25	現地視察：裾花川沿い自然観察 長野県自然観察インストラクター 杉本淳
	10：30	会議室へ移動
	10：40	講演：（仮題）自然観察会と温暖化問題 講師 杉本淳
	11：40	昼食・休憩
	12：40	WS：各県で1つやってみたい温暖化防止プログラムをつくろう
	14：00	各センターごとの発表 （8県市センター×3分=24分）
	14：30	全国センターから講評
	14：35	記念撮影
	14：45	研修会終了・解散

② 実施状況

